

高崎商科大学短期大学部・令和5年度運営方針

高崎商科大学短期大学部 学長

2023年3月28日

- 1 概要：「卓越したビジネス教育」に向けた試行/検証/共有/発信**
1. 「卓越したビジネス教育」のために「教育」「研究」「地域貢献」を進化/深化させる
2. 「卓越したビジネス教育」を通じて、個人、各ユニット、大学それぞれで「こえる」(越・沃・超)
3. 「卓越したビジネス教育」をステークホルダーに発信し、TUC ブランドを県内で確立し近県から全国へと浸透させる
4. 建学の精神「自主・自立」、教育理念「実学教育」「人間教育」「地域社会への貢献」を具体化し、中期計画を達成する
- 2 個人：「卓越したビジネス教育」の担い手に**
- 教育 「面倒見よく育てる」、正課授業の深化、新しい教育方法(ポートフォリオ、ルーブリック評価、オープン教育リソース)、課外教育プログラムの開発、参画、進路選択支援
- 研究 「本学らしい研究」、社会課題、地域課題への対応、外部資金の獲得及び学内外の競争的資金への申請
- 社会貢献 「地域への知の還元」、公開講座、メディア等を通じた社会との対話、社会や地域での大学人の役割
- 大学人・組織人 「互いの尊重と共感」、法令や規律の遵守
- こえる [越] 教職協働、学内外との連携、STEAM 教育 [沃] 研修機会の活用、働き方関連の休暇や制度の活用 [超] (教育、研究、学生支援、教学業務の進化/深化)
- 3 各ユニット：「卓越したビジネス教育」のための協働を**
- 各ユニット 委員会、センター、学部、学科、短大、共通・隣接分野、同一科目担当、共同研究、課外活動、事務局、ワーキンググループ等
- 教育 「個を支える」「しくみを動かす、作る、試行する」、FD・SD 活動での共有、協働、IR の活用
- 研究 「学際的、総合的な研究」学内外での共同研究、学会や社会との研究成果の共有
- 社会貢献 各ユニットの社会貢献の構想、試行、支援
- 組織運営 「心理的安全性の確保」教職協働、ユニット間協働の深化
- こえる [越] 高大連携、共同 SD、IR [沃] 業務や活動を通じた TUC 人材の育成、研修等の開発 [超] 新カリキュラムの理念の具現化

4 短大：「卓越したビジネス教育」 を進め支える

教育 新カリキュラムの具現化

研究 外部資金獲得支援、研究環境及び成果共有環境
の整備

社会貢献 学内ユニットと学外とのマッチング、調整、
リソース分配と活動支援

短大運営 認証評価の受審、教学マネジメントによる
教育の質保証サイクルの確立、TUC ブランド
の確立、次期中長期計画の構想

こえる [越] 産官学連携 [沃] 働き方の多様化のため
の制度 [超] 他大学/短大との連携による、教育、
研究、社会貢献の進化/深化